

東京湾海況情報 14 - 03

貧酸素水塊動向調査結果(5月21日観測分)

平成14年5月23日
 千葉県水産研究センター 富津研究所
 〒293-0042 富津市小久保3091
 0439-65-3071 FAX 0439-65-3072
 E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.jp

資料：水質調査 5/21 東京内湾：わかふさ
 内湾底びき網連絡協議会・東京都環境局・千葉県環境研究センター・ふさなみ観測資料

貧酸素水塊動向調査結果(5月21日分)

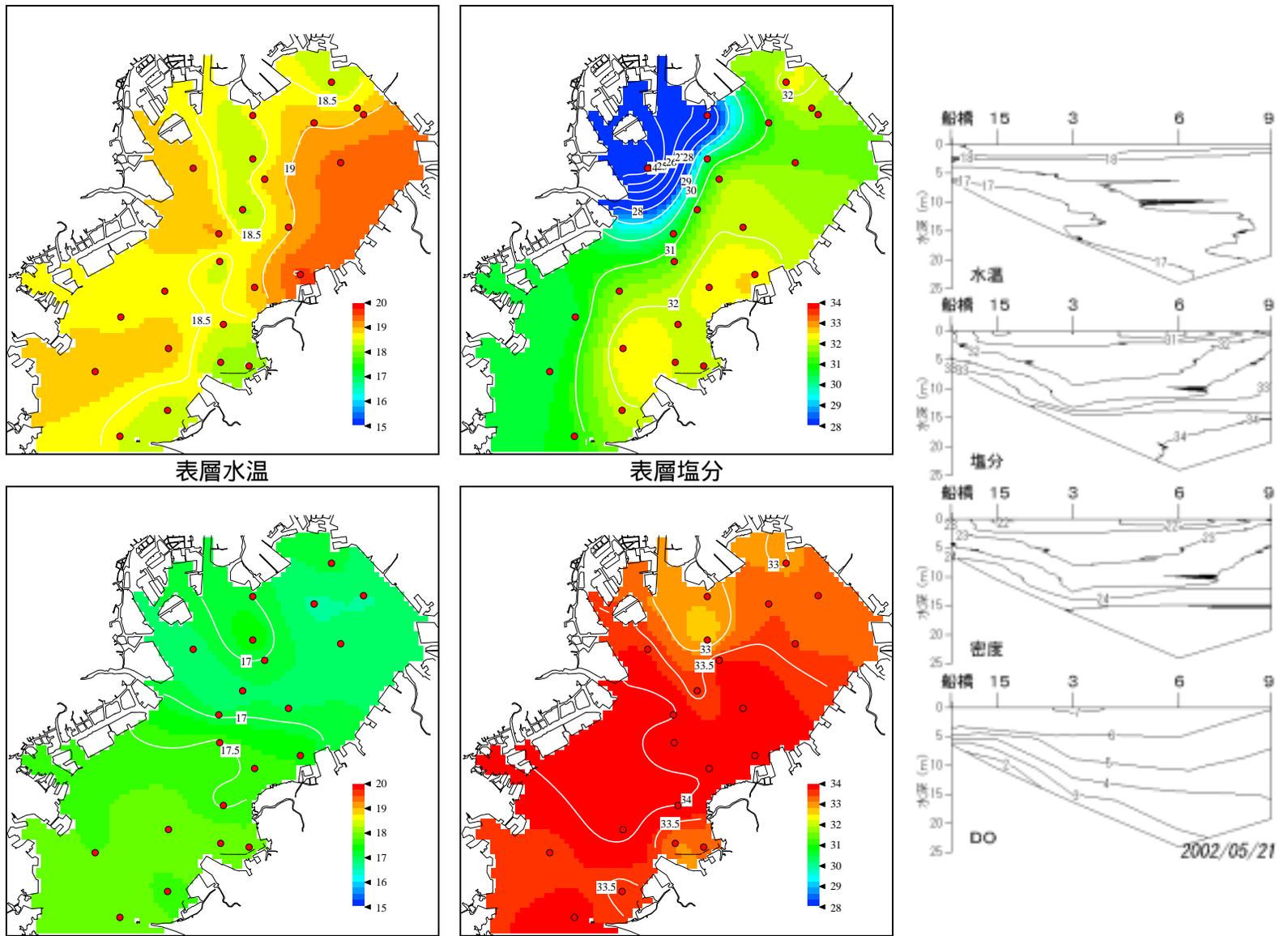
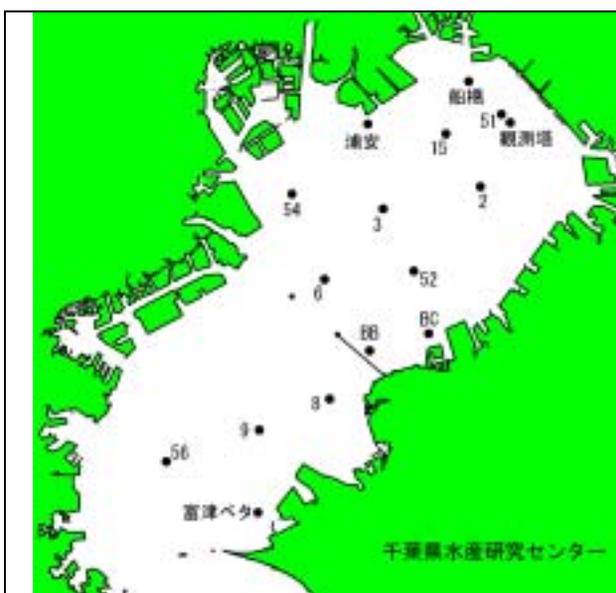


図1 内湾の水温・塩分分布(表層・底層)

図2 内湾の鉛直分布



貧酸素水塊動向調査点

貧酸素水塊動向調査

水産研究センターでは春～秋に内湾の底層で発生する貧酸素水塊の調査をおこないます。調査点は左図のうちの14点(時期により変動), 調査項目は水温, 塩分, pH, DO, クロロフィルa量などです。

貧酸素水塊は貝類漁場に被害を与える青潮の原因となったり, 底層に広く分布するためカレイ, スズキ, アナゴなどの底層付近に生息する魚類の分布などにも大きな影響を与えることから, 調査翌日までは「貧酸素水塊速報」を発行しています。

また調査・速報発行には内湾底びき網連絡協議会, 東京都環境局, 千葉県環境研究センターに協力していただいています。

水温・塩分の状況 (図1～2, 表1)

水温は表層で18～19, 底層で16～17 でした。塩分は表層で23～32と内湾北西部で低く, 底層で32～34でした。内湾縦断面の鉛直分布では水温16～18, 塩分30～34でした。

赤潮の状況(図3～4, 表1)

内湾の北部, とくに北西部で赤潮に近い状態になってきています。植物プランクトンの量の指標となるクロロフィルa量は1桁～30 $\mu g/L$ 台でした。

主なプランクトンは珪藻に替わり, 小型の渦鞭毛藻類が中心になっています。

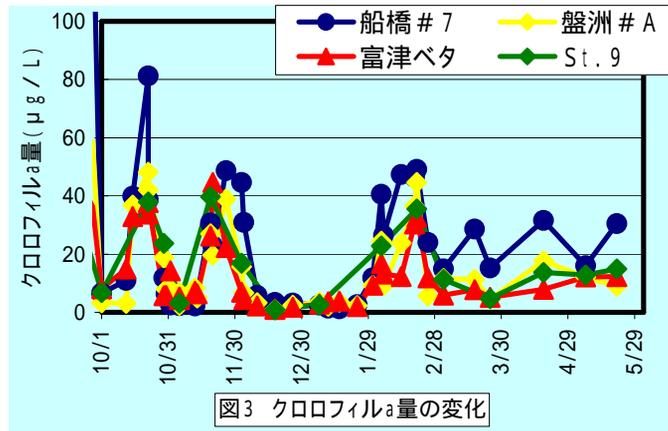


図3 クロロフィルa量の変化



図4 内湾の赤潮の状況

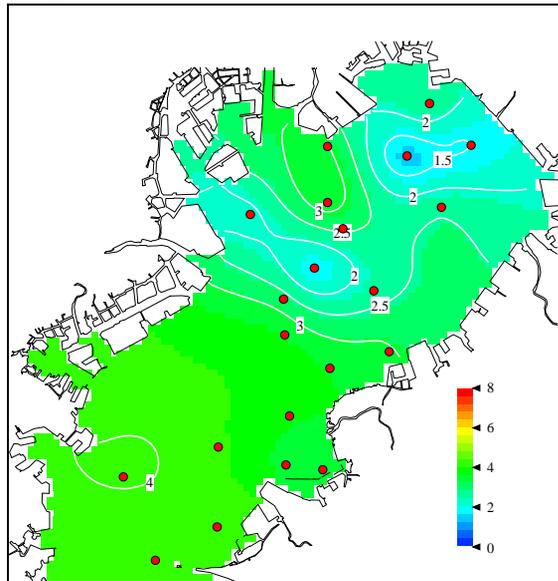
また館山水産事務所の「ふさなみ」の情報によると, 5月14日明鐘岬以南の沿岸で夜光虫による赤潮が発生していた模様です。

千葉県赤潮の目安...色: オリーブ～褐色, 溶存酸素の飽和度: 150%以上, 透明度: 1.5m以下, pH: 8.5以上, クロロフィルa量: 50 $\mu g/L$ 以上

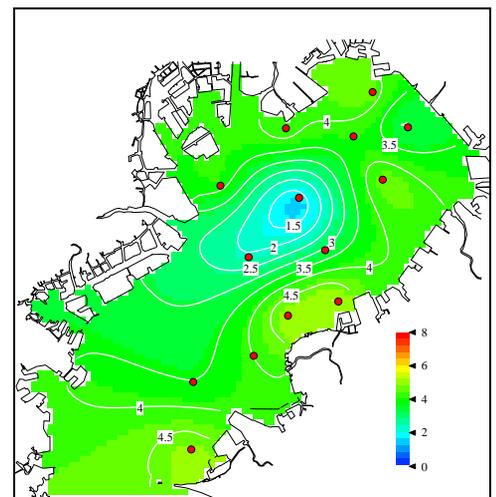
貧酸素水塊の状況 (図2, 5, 表1)

底層の溶存酸素量は1～4 ml/L で, 2.5 ml/L 以下の貧酸素水塊は湾奥～内湾中央部に分布しています。昨年同時期と比較するとやや広いようです。

水産研究センターでは2.5 ml/L (酸素飽和度約50%)以下を貧酸素水としています。漁業種類によってはそれ以上でも影響がでる場合もありますので注意してください。



5月21日



昨年同期(5月22日分)

図5 底層の溶存酸素量分布 (ml/L)

表1. 主な調査点の水質調査結果(表層)

調査年月日:平成14年5月21日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	クロロフィルa量 ($\mu g/L$)	底層のDO (ml/L)
船橋	2.0	18.3	32.13	8.3	31	2.4
St.15	1.8	19.0	30.91	8.3	23	1.2
st.3	1.8	18.8	31.49	8.4	33	2.5
St.6	2.3	18.9	30.37	8.3	21	2.6
St.9	2.8	18.8	32.36	8.3	15	3.8
盤洲Cブイ	2.0	19.5	32.43	8.3	22	3.1
盤洲Bブイ	1.8	18.8	32.30	8.3	28	3.3
St.8 (盤洲Aブイ)	3.0	18.4	32.02	8.2	9	3.4
富津ベタ	4.1	18.3	31.92	8.2	12	4.0

透明度, pH, クロロフィルa量の網掛けは赤潮, DOの網掛けは貧酸素水の基準に達していることを示しています。

東京湾情報ボックス

・5月14日明鐘岬から南の千葉県沿岸で夜光虫による赤潮確認(館山水産事務所:ふさなみ)

情報は水産研究センター富津研究所までお願いします

0439-65-3071 FAX 0439-65-3072

E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.jp